

お世話になっています。

私の発言した部分に不足部分が多かったことを反省し申し訳なく思っています。

皆さんのように大きな視点での官民の「協働」というよりも身近な子育て支援における発言でありました。まだまだ子育て支援における NPO の活動は手探り状態と言えるのかもしれませんが。女性の考えは狭い。困ったものだ、とても任せてなんぞいられないと行政の方や男性委員の方たちは思っておられるのかもしれませんが。論点をうまくまとめられておらず済みませんでした。

私ども女性は（私だけかもしれませんが）経験の中から学び積み重ねていくことが多いものです。理詰めの男性的論理で片づけてほしくないものがあります。要綱ですべて牛耳られるのではなく、基礎から共に考える姿勢が協働と聞いたかったところなのです。

若い人たちが（練馬区の住民が）子どもを産みたい・育てたい環境の構築、子どもを持って初めて経験する不安の解消、子育て当事者が望んでいること、私のような保育士上がりのものは、子どもたちの育ちをまず、第一に考えたいのです。そのための環境設定、狭義な話になりますが子育てのひろばの環境一つとっても、住民の意見が生きるようなものであって欲しいと願うものです。協働の原則的なことはだれもが分かっていること、実際はどうかということと言いたかったことです。細かいことは各所管に於いて、協定書などを検討することも必要かと思えます。（この辺は抜けた所です）